

地球村ふだい明日を担う子ども議会

私たちも真剣に考えてます

十一月十三日、「地球村ふだいの明日を担う子ども議会」が村議会
議場で行われました。児童生徒の視点から村政の課題を探ろうと四年
ぶりに開催されました。村内の小中学校から三十六人が参加、日ごと
感じていることなどを提言し、村政に理解を深めました。

子ども議会は一九九七年以来 出席しました。熊谷伊寿美さん
第二回目の開催。普代、黒崎、
堀内、鳥茂渡各小学校の六年生
代表十二人、普代中の二年生四
人、村側からは深渡宏村長らが
した。



堂々と意見や提言が出されました

「子どもから高齢者まで利用
できる公園の整備を」、「バスの
運行回数を多くして」、「映画館
や書店、ショッピングセンター
を造って欲しい」など子どもな
らではの提言が相次ぎました。
切実な訴えにこたえ、村側も真
剣に答弁。「チョウセンアカシ
ジミを村のマスケットキャラク
ターに」との提言には、「村の花
や木、コンブなども考えられま
すが有力な候補の一つです。村
民の皆さんから意見を聞きなが
ら決めたいと思います。」と意
見を尊重する姿勢を示しました。
須田千尋さん（堀内小）は
「議会の仕組みがよく分かりま
しました。」と村政への関心を高め
ていました。公園の整備を要請
した鳥茂渡小の坂下雄洋くん
は、「緊張しましたが、検討す
るという回答が返ってきました
ので良かったです」と胸をなで
おろしていました。

久慈地方育樹祭 森は命を育む源！

平成十三
年度久慈地
方育樹祭が
十月十日、
村鳥居地内
で行われま
した。枝打
ちや間伐作
業などを通
して緑豊か
な郷土づく
りを誓い合

つていました。

久慈地方育樹祭（主催「普代
村・久慈地方林業振興協議会」
は管内六市町村が持ち回りで開
催していて、今年には本村が開催
地、林業関係者と鳥茂渡小（菅
原伊保校長）の森林愛護少年団
十八人を含む約百人が参加して
行われました。



アカマツの部で最優秀賞に輝いた榎谷さん

深渡宏村長は「森林と人の
共生が潤いと活力を与えます。
未来に向けて緑ある郷土をつく

枝打ちに先立って行われた開
会式で、森の大切さを新たに
する参加者たち



りましょう」とあいさつ。

久慈地方育樹コンクールの表
彰式が行われ、アカマツの部で
本村の榎谷幸三郎さん（七一・
茂市）が最優秀賞を受賞しまし
た。榎谷さんは「思いがけない
賞をいただき、ただただ感激
しています」とうれしそうに語
ってくれました。

式終了後、参加者全員でアカ
マツが植えられた森で、手にの
こぎりなどを持ち幹を傷つけな
いよう一時間ほど枝打ち作業を
行いました。最後に、森林愛護
少年団長の山崎愛里さん（六年
生）が「大切な森を皆さんと力
を合わせ、守り育てていきたい
と未来へ向け、メッセージを発
信しました。